

名 称		平成24年度 第2回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時		平成25年3月6日(水) 18:00～20:00	
場 所		ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 教授) 小倉 敬子 委員 ((公財)かわさき市民活動センター 理事長) 竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房 代表 兼ファシリテーター) 高見沢 実 委員 (横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授) 橋本 淳 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会 会長) 和智 英人 委員 (社団法人 横浜青年会議所 顧問)	
	保土ヶ谷区役所	地域振興課長 日詰 雄治 地域振興課 生涯学習支援係長 森脇 美也子 同 生涯学習支援係 橋本 幸枝 同 生涯学習支援係 茜ヶ久保 聡子 同 生涯学習支援係 高橋 由美子	
	協働運営会議	代表 小林 由美子	
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 東日本事業部長 岡部 禎之 アクティオ株式会社 東日本事業部 藤原 さなえ ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 阿野 秀一郎 同 スタッフ 中津留 憲一 同 スタッフ 大谷 敦子	
欠 席 者		なし	

議 題	(1)平成24年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成24年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員・名簿 2.平成24年度下期 ほどがや市民活動センター 活動報告書 3.平成24年度下期 施設利用状況 4.平成24年度下期 事業報告書 5.平成24年度下期 街の学習応援隊 登録状況・活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成24年度下期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート 8. ほどがや市民活動センター評議会会則

\*会議成立 委員の欠席はなし。

ほどがや市民活動センター評議会会則第8条第2項に基づき、定数の過半数を充たし、本会議は成立した。

あわせて、H24年度第1回評議会において、議長は小倉委員、副議長は浅井委員が選出されていることを確認した。

議題(1)平成24年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務	
(1)-1	「平成24年度下期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」、「新たな担い手の裾野を広げる」を報告 【委員からの質問とアワーズからの回答】 (質問)相談件数が昨年に比べ低い。なぜ低いのか。 (回答)窓口での相談件数は、昨年度とほぼ同件数。電話やメールでの相談が昨年度と比較すると少ない。

確かな理由は分からないが、今後も、柔軟な相談対応を心がけ、相談件数アップを図りたい。

**【委員からの意見】**

- ・「このような相談業務を行っている、こんなことが解決できた」という相談事業の広報を行うとよい。
- ・相談件数の分析を掘り下げて行うとよい。具体的には面談・電話がどの様なルートから来ているのかまた、件数を上げるには、リピーターの方または新規の方のどちらを対象にするのかで、具体的な対策も変わってくるのでこの辺りも分析が必要。
- ・資料について、次回から、数字が前年から大きく変わっているものは、理由などコメントを入れるとよい。
- ・相談件数が多いから良い、少ないから悪いというのではなく、相談内容による。また、他の施設も同じように件数が減っていれば世の中の流れと考えればよい。アワーズだけのデータを見て、どうのこうのという判断はしない方が好ましい。
- ・ボランティア入門講座は座学と、実際のボランティアを体験できる体験型の2種類のプログラムの立て方を考えるとよい。
- ・共催の方が幅広く参加者を集められる。

(1)-2

「平成24年度下期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」、「交流の機会を創出する」を報告

**【委員からの質問とアワーズからの回答】**

(質問)HPで実施した事業の成果を発信しているか。

(回答)一部(の事業に関して)、HPで写真付きで結果を発信している。

(質問)暮らしの豆知識のタイトルは変えないのか。タイトルと中身がずれている。

(回答)次年度に向けタイトルに見合った内容の講座にしていく。

**【委員からの意見】**

- ・どの様な講座を実施したのか、その成果が何も見えにくい。アワーズでやっているすべての事業を写真と内容のポイントをHPで発信するなどの対策が必要では。
- ・広報のあり方を考える。具体的には高齢者向け、若者向け。特に若者向けにはブログ、フェイスブックなどのツールを利用する事を考える。
- ・お勤め帰りの若い人が何を求めているか。情報を掴んで夜間講座に役立てる。  
(人は俗なものに集まる。例えば、お金、婚活、ダイエット、ヘルシーなど)
- ・時流に乗ったものを企画する。

(1)-3

「平成24年度下期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「街の学習応援隊」事業を報告

**【委員からの質問とアワーズからの回答】**

(質問)研修会、交流会の参加者が少ない。登録者に、3年に1回とか参加を義務づけているか。

(回答)義務付けていない。

(質問)応援隊の方を活用してもらうにはどの様にしたら良いかという事を考えているのか。

(回答)年1回程度、アワーズで(応援隊の)PRの場として利用者対象に実施している。また、依頼を受けたイベントに取材に行き、応援隊の活動様子を収集し、情報紙に掲載している。

**【委員からの意見】**

- ・研修会、交流会に参加をして、アワーズの目指しているところを知ってもらう事が必要。登録して単に活動の場だけをくださいというのは問題がある。
- ・今後、研修会、交流会の実施日の曜日や時間を参加しやすいよう検討してはどうか。

<p>(1)-4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座も良いが、年4回ほどアワーズで体験講座、演技披露を実施したらどうか。その時、全体のチラシはアワーズが作り、各参加者(応援隊)は自分で自分のチラシを作成し、自分のコーナーに来て頂く様アピールする。</li> <li>・登録して何年も声が掛からなかった方、芸が披露できなかった方に声が掛かる様に外に広報して頂きたい</li> <li>・応援隊のガイドブックだけでは利用者は分かりづらい。</li> </ul> <p>「平成24年度下期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「区民利用施設との連携」、「広報・周知」、「評価・検証」、「研修」を報告</p> <p><b>【委員からの質問とアワーズからの回答】</b></p> <p>(質問)アワーズの情報紙は誰が作っているのか。</p> <p>(回答)スタッフが作っている。</p> <p>(質問)アンケートのフォーマットは同じか。</p> <p>(回答)毎年アンケートを実施している。フォーマットはほぼ同じ。毎年一部変えている。</p> <p><b>【委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「フェイスブックなどを使う」、「メルマガの発信数を現在280人から500人にする」など、目標値を設定する。その為にどうするかという手法を考える。</li> <li>・情報紙の製作の作業や、取材などを一部、区民及び協働運営会議の方にお手伝いして頂いたらどうか。</li> <li>・協働運営会議の方々から情報紙の内容を含んだ全般的なご意見をもらうことも必要。</li> <li>・情報紙で「あれも、これもやりました」という作り方は記事に興味がない。「これをやってこんな喜びがありました」という作り方は、共感が得られる。今の情報紙ではワクワク感が紙面から出てこない。</li> <li>・評価するときに半年ごとに細かく見るのではなく、中期的に見るもの、長期的に見るものに分け、目標値を設定し、経年的にどの様に推移しているかが分かるように評価しやすい。</li> <li>・情報紙の1面又は最終ページに、アワーズの地図や事業などの具体的な情報を掲載することが大切。</li> <li>・資料について事業分類のもう一つ上の分類(つなぐ、たかめる、ひろげる)との相関が分かる様になっていると事業が分かりやすい。資料の見せ方、まとめ方をもっと工夫すると視覚的に分かりやすい。</li> <li>・アワーズのリーフレットは初版と同じものか。時々変えることが必要。変えることで、最新の情報がアピール出来る。</li> <li>・スタッフの方々がワクワクしながらチャレンジできる企画をやってほしい。</li> </ul>
<p>議題(2)ほどがや市民活動センター 協働運営会議から</p>	
	<p>「ほどがや市民活動センター協働運営会議 平成24年度下期 活動報告」に基づき、協働運営会議代表より報告</p> <p><b>【委員からの質問と協働運営会議の回答】</b></p> <p>(質問)利用者交流会の参加者を増やす工夫は。</p> <p>(回答)テーマを防災や減災という身近なテーマにし、講座やグループトーク、またミュージックタイムなどを入れ、利用者が参加しやすいよう工夫している。次年度も、テーマの設定の工夫が必要。</p> <p>(質問)団体カススキルアップ講座について、今回のテーマは、どのように設定したのか。</p> <p>(回答)アワーズと協働運営会議とで話し合い、講座のテーマを設定した。今回の実施は、テーマを盛り込みすぎたと感じている。一つのテーマで連続講座にし、もう少し掘り下げた内容でより具体的に、団体の課題解決へと導きやすくなるのではないかと考える。</p>
<p>課題(3)評価シート記入</p>	
<p>議題(4)その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)</p>	

以上